



◆今、子どもたちが育つ基盤である家庭・地域は貧困と格差の中で苦しんでいて、その影響は教育現場にも現れています。稚内では平成28年度から「子どもの貧困問題」について教育関係者のみならず福祉、医療、行政が連携しながら実践研究をしてきています。
◆その中で、学校が医療、福祉とつながりながら子どもたちを育てていく役割が求められていると考えます。少し広い視野で学校づくりについて考えてみましょう。
◆ぜひ、ご参加下さい。



医療・福祉とつながる学校づくりを考える — 子どもの貧困問題を切り口に —

ほん ま まさ ひろ

本間 正博 さん

稚内東小学校校長



講師

●教育大釧路校卒業。稚内市で小学校教員としてスタートし、現在、稚内東小学校に勤める。稚内市子育て推進協議会事務局長。また、道教組委員長としても、全道の教育関係に携わっている。

◆講演後・質疑応答・フロアー交流を行います

とき

2019年 **1月14日(月)** 10:00~12:30

会場

札幌市生涯学習センター **ちえりあ** 中研修室1 (2階)

参加費

500円 (資料代) どなたでも参加できます!
地下鉄東西線「宮の沢」駅直結・徒歩5分

【主催・連絡先】北海道民間教育研究団体連絡協議会(道民教)

事務局長 井上大樹(札幌学院大) 〒061-1409 恵庭市黄金南1丁目15-9-103 井上

メール: hiroue16@sgu.ac.jp TEL/Fax: 0123-21-8627

ウェブサイト: <http://douminkyu.okoshi-yasu.com/>